平成３１年度　しおさいの里等複合施設　事業計画

１．中期的な事業方針（計画期間：平成３０年度～３２年度）

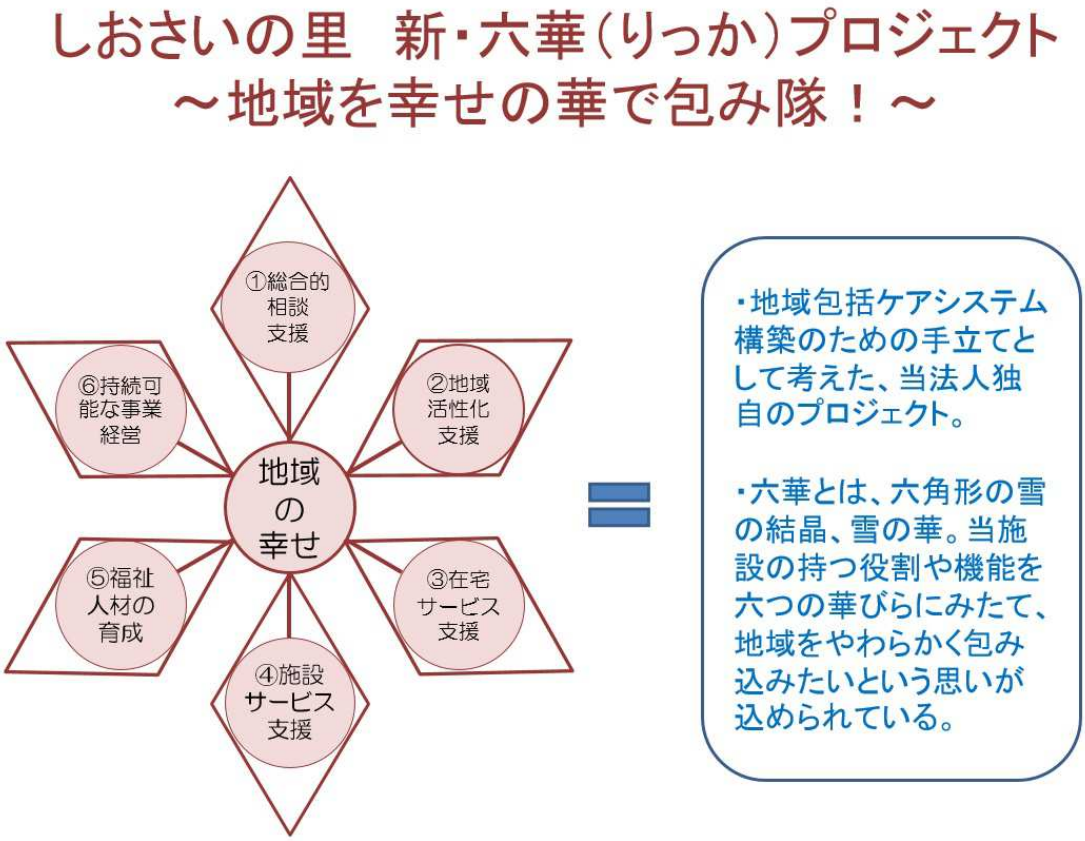
国はこれまで、国民一人ひとりが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように地域包括システムの構築に向けた取り組みを進めてきた。また、これまでの制度改正の中で「地域包括ケアシステムの構築に向けた見直し」が行われ進められてきており「医療・介護の連携」「地域共生社会の実現に向けた取組み」などが推進されることとなった。

障害福祉分野においても、利用者の高年齢化や障がいの重度・重複化に対して、地域医療と密接に連携した支援の充実が求められ、現高齢福祉制度と障害福祉制度間の課題を見直し「共生型サービス（地域共生社会）」の実現に向けて制度改正されることとなった。

そのような中で、当法人では高齢・障害のサービスを持つ施設として「地域共生社会の実現に向けた取組み」を推進していくことがより求められている。

また、福祉に携わる人材に限りがある中で、職員がやりがいを持ちそして、適切にサービス提供が出来る仕組み（人材の確保と生産性の向上、質の高いサービスの実現）と更なる経費削減、施設設備の修繕等の効率的な経営をすすめる。

限られた経営資源を有効に地域に還元するため、当複合施設の各事業部門が連携し、一体となって進めてきた「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト」を今後も「新・六華プロジェクト」として推進していきたいと考える。



＜総合的相談支援（一ノ華びら）＞

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談支援センター等との情報共有を図りつつ、地域住民の相談窓口機能を果たします。

＜地域活性化支援（二ノ華びら）＞

地域住民、住民組織等の多様な主体と協働しながら、地域社会の活性化に向けた取り組みを推進します。（・介護予防事業「だんだん広場」　・障害者スポーツ等の体験交流（ふくしのひろば等）　・認知症啓発活動　・地域交流行事（夏祭り等）　・社会奉仕活動　・地元保育園や小中学校等との交流事業　・ホームページや広報紙等を媒体とした情報発信）

＜在宅サービス支援（三ノ華びら）＞

介護及び障害福祉サービス事業所としての資源やノウハウを最大限活用し、地域に還元します。（デイサービスセンター、ショートステイ）

＜施設サービス支援（四ノ華びら）＞

在宅での生活が困難な方々、特に中重度の要介護者や障害のある方々への生活支援に努めます。

＜福祉人材の育成（五ノ華びら）＞

人材不足が顕著に現れている福祉分野において、組織の活性化を図りながら、互いが協力し合うとともに、やりがいのある職場づくりに努めます。（・職員研修　・目標管理　・メンタルヘルス対策　・組織体制の見直し　・給与改善　・障害者雇用）

＜持続可能な事業経営（六ノ華びら）＞

当複合施設の安定的、発展的な事業継続に向けての取り組みを推進します。

（・収入増加策の検討（空床管理、加算の検討等）　・効率的、効果的な業務改善による経費削減　・設備、備品の大規模修繕、更新の計画、実施　・夕映えの郷事業部との業務連携）

２．事業内容

（１）特別養護老人ホームしおさいの里（介護老人福祉施設）
（２）しおさいの里ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）
（３）障害者支援施設さいはま園（生活介護、施設入所支援、短期入所）
（４）デイサービスセンターゆりかご荘（通所介護、新総合事業通所型サービス（現行相当サービス、緩和した基準によるサービス））
（５）しおさいの里居宅介護支援事業所（居宅介護支援）
（６）しおさいの里地域包括支援センター（大潟くらし支援室・頸城くらし支援室）（上越市委託事業、介護予防支援事業）
（７）介護予防教室「だんだん広場」（新総合事業通所型サービスＢ（まちづくり大潟委託事業）、法人独自事業）

３．平成３１年度事業計画

３－０）法人における共同検討計画

【共同検討課題】

1. 介護保険制度と障害福祉制度の円滑な共同、および新たなサービス等の創造

・検討プロジェクトチームによる法制度上の「共生社会の実現」についての共同検討

2. 相談事業の改変を検討

・介護保険における地域包括支援センター・居宅介護支援事業と障害福祉制度における相談支援事業の共同、および新たな地域における相談体制の創造

３－１）しおさいの里等複合施設事業計画

（１）事業目標：福祉制度や分野を越えた新たな枠組みや連携の仕組みを検討するなかで、複雑で多様な生活課題を抱える地域住民や福祉サービス利用者のニーズに応えていきます。

（２）重点目標：

１．上越頸城福祉会版「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

①法人内（しおさいの里事業部・夕映えの郷事業部間）での横断的な組織「我が事・丸ごとプロジェクトチーム」を立ち上げます。

②利用者個人や世帯が抱える複合的な生活課題への対応の充実を図るため、相談支援部門（しおさいの里地域包括支援センター、しおさいの里居宅介護支援事業所、夕映えの郷相談支援事業所）間の連携を強化します。

２．時代に応じたケア体制の構築を目指します。

③高齢障がい者と障がい高齢者それぞれの特性を踏まえつつ、地域共生社会の視点に立ったケア体制について引き続き検討し、実践していきます（障害福祉サービスから介護保険サービスに移行する利用者の受入れ、共生型サービスの検討等）。

④各ケアユニットや職種間の「役割」を尊重し合うとともに、地域包括ケアシステムの原点となる「支え合い」や「思いやり」の視点からの連携・協力体制の再構築を図ります。

⑤新潟県が実施主体となる「認知症介護研修（基礎研修、実践者研修、実践リーダー研修）」等の研修会に計画的に参加し、施設内での認知症ケア向上につなげていきます。

３．人材の確保ならびに生産性の向上と安心して働ける職場環境の構築を目指します。

⑥高齢事業部門（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター）において、ICT（情報通信技術）を活用した記録業務の効率化に向けた取り組みを推進します。

⑦介護ロボット等の活用による介護業務の効率化や負担軽減に引き続き取り組みます。

⑧地域に暮らす高齢者やボランティア、夕映えの郷メンバー等に対し、社会における活躍の場を提供するとともに、地域住民や施設利用者の生活の質の向上に引き続き取り組みます。

⑨大学や専門学校等からの実習やインターンシップを積極的に受け入れることで、将来の人材採用につなげていきます。

⑩更なる経費削減に努めるとともに、施設設備の修繕等や非常災害・防犯に関する対策を進め、利用者及び職員にとって安全・安心かつ快適な環境の確保に継続的に取り組んでいきます。

３－２）在宅支援課　部門計画

（１）部門目標：地域（利用者）と保健・医療・福祉サービスをつなぎ、地域共生社会の実現に向けた役割を担うことをスタッフ一人ひとりが自覚し、その役割の遂行にチームワークを持って取り組みます。

（２）重点目標：

①上越市地域包括支援センター事業受託法人として、市が目指す「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて具体策を検討し、実践していきます。

②フォーマルサービス（公的な支援）やインフォーマルサービス（NPO 法人やボランティアグループ、家族・近所・地域の支援等）を問わず、様々な地域の資源を活用した居宅介護支援の実現に向けて実践していきます。

③年齢や障がいを問わず、地域に暮らすみんなにとって、優しく気軽で便利な「街のコンビニ」的デイサービスの提供に向けて実践していきます。

３－２－１）地域包括支援センター　部門計画

（１）部門目標：地域包括支援センターの基本的な視点（公益性、地域性、協働性）をもって「地域包括ケアシステムの深化・維持」から「共生社会の実現」に向けて地域や他分野の関係機関とも連携を強化していきます。

（２）重点目標：

①高齢者に限らず引きこもりや障害者に対する相談支援体制の整備に向けて他分野の関係機関との連携を構築し、強化していきます。

②上越市認知症施策総合戦略（上越版オレンジプラン）に基づき、実態把握や地域の講座でリーフレットを配布し、認知症の予防や早期発見の重要さなど認知症に関する正しい理解の普及に努めるとともに、地域で気軽に認知症の相談ができる「認知症のなんでも相談室」の役割を担います。

③上越市健康増計画に基づき、地域の生活習慣病等の重症化予防、介護予防に向けた取り組みを行います。

３－２－２）居宅介護支援事業所　部門計画

（１）部門目標：地域包括ケアシステムを拡充した地域共生社会を見据えて、広い視野を持ち、制度や地域資源のつなぎ役を果たして個別支援の充実を目指すと共に、そこから抽出された地域課題の解決に向けた取り組みにも参画していきます。

（２）重点目標：**（数値目標：担当件数１４０件／月以上）**

①利用者の生活の現状や暮らす地域を総合的にアセスメントし、専門的な見解を誠実に伝え、その上で利用者（家族）の自己決定を尊重しながら、その人らしい生活のありようを利用者（家族）と一緒に考えていく課題解決アプローチを実践します。

②平時から地域包括支援センターや介護事業者、医療機関、障がい支援機関等と連絡を取り合い生活状況や課題、ニーズ等の情報共有につとめ、地域共生社会を目指した連携と協働による高度なアプローチを目指します。

③自ら進んで学び、事業所の枠を超えた介護支援専門員同士や他専門職との学びの場を設け、共に質の向上を図りながら、多様性かつ個別性の高いニーズに対して適切なケアマネジメントを実践します。

３－２－３）デイサービスセンター　部門計画
（１）部門目標：関係機関や職員間の連携を密にし、利用者のニーズに合わせ柔軟に対応できる支援を目指します。
（２）重点目標：**（数値目標：1日型利用率 26名以上／日　　半日型 登録数30人以上）**
①利用者のニーズを把握し希望に沿った活動・提供時間でのサービスを行い、様々なサービス利用開始のきっかけ作りや、利用の継続に繋がるよう支援します。
②空き情報の更新や営業活動等積極的に行い、新規依頼時には迅速に対応し、通所介護及び総合事業の毎月の利用延べ人数６７６人（毎日の利用者数２６名以上)、半日型デイサービス（主に総合事業の通所型サービスＡの対象者）の登録数３０人を目指します。
③職員間のコミュニケーションを大切にし、お互いに思いやりを持って、相談しやすく働きやすい環境作りを行い、笑顔の絶えないより良いサービス提供を目指します。

３－３）高齢介護課　特別養護老人ホーム　部門計画
（１）部門目標：利用者、職員共に笑顔で、安心して楽しみややりがいのある生活が送れるよう、心や思いに寄り添い、適切なサービス提供の実現を目指します。また福祉分野を越え、地域の中の一員としての役割にも目を向けサービス展開を目指します。
（２）重点目標：**（数値目標：利用率 97.5%／年）**
①利用者の基本的人権を尊重し、安心・安全な生活が継続でき、その人らしく笑顔で生活できることを大切にしながら支援します。
②認知症ケア担当者が中心となり、認知症の理解を深め、一人ひとりが自分らしく安心した生活が送れるような支援を目指します。認知症研修等の参加にも努めます。
③専門職としての自覚を持ち、個々の役割と責任を認識しながら、職員間のコミュニケーションを大切にし、風通しの良い、働きやすい職場環境を目指します。
④地域に暮らす高齢者や障害者、地域住民の活動の場としてボランティア活動やその他の社会活動を受け入れることにより、利用者の活動の輪も広がり、可能性の引出しや楽しみ、やりがいを持つことで、社会との結びつきの更なる充実を目指します。
⑤一人ひとりが自身の資質向上のため、積極的な研修参加や自己研鑽に努めます。
⑥記録の電子化、移乗支援用具等の導入を進め、より一層の業務軽減や仕事の効率化等、負担軽減を目指します。

３－３－１）しおさいの里　２丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者が心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、職員が協力し合い、真摯に支援していきます。
（２）重点目標：
①日々の生活支援の中で、感染症の予防・安全への配慮を行いながら、年間・月の行事の企画や季節を感じていただけるような飾りつけを行い、利用者に楽しんでもらえるよう努めます。利用者個々のニーズには、できる限り応えていきます。
②言葉の表現やトーン･対応の仕方等､不適切ケアに繋がらないよう職員全員で気を付けます。また、定期的に職員自身の介護・援助の仕方を振り返る機会を設け、ケアの質が維持・向上していけるよう努めます。
介護の基本となる整容（髪・髭・眼脂・衣類）や姿勢（食事の姿勢・栄養滴下時の臥床姿勢）には、特に気を配ります。

３－３－２）しおさいの里　３丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者が安心し、健康な生活を送れるよう援助し、職員にとっても働きやすく、職員一人ひとりが個性を発揮できる環境作りに努めます。
（２）重点目標：
①利用者が健康で充実した生活が送れるよう、感染症の予防、また事故防止に努め、安心、安全なサービスを提供します。
②職員一人ひとりが考えを言い合えるコミュニケーションを大切にした環境、また相談しやすく働きやすい環境作りを目指し、職員の連携が密になるよう努めます。

３－３－３）しおさいの里　６・７丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者一人ひとりが安心して楽しみのある生活が送れるよう支援し、職員にとっても働きやすい職場環境作りに努めます。
（２）重点目標：
①日々の支援の中で、利用者一人ひとりの楽しみややりがいを探りながらサービス提供し、楽しんでいただけるよう努めます。
②新体制に伴い、職員間のコミュニケーションを大切にし、業務体制を工夫しながら働きやすい職場環境作りに努めます。

３－３－４）しおさいの里　５丁目　部門計画
（１） 部門目標：何度も利用していただけるように心のこもったサービス提供に努めます。
（２） 重点目標：**（数値目標：利用率 94%／年）**
①利用者やご家族の意向や苦情に真摯に向き合い、気持ちに寄り添った対応を行い、安心して利用できるよう努めます。
②職員間の連携、コミュニケーションを大切にし、情報の共有を図り、認知症の理解を深め、適切なサービスの提供に努めます。
③７丁目多目的室や特養の空きベッドを活用し、利用率アップにつなげ、毎月の利用延べ人数340 人を目指します。

３－３－５）看護　部門計画
（１） 部門目標：利用者が安心して過ごせるよう健康面から支えて行きます。
（２） 重点目標：
①日々の生活から看取りケアまで、他職種と協力し合い、安心・安楽なケアを提供するように努めます。
②看護師として、嘱託医・病院・薬局と連携し、体調管理面から支えて行きます。

３－３－６）機能訓練　部門計画
（１） 部門目標：利用者様の思いを汲み取り、他職種との連携を図って援助を行って行きます。
（２） 重点目標：
①専門職としての視点から、利用者の能力や可能性を念頭に置き、安全な生活環境や充実した生活を送れるような支援に努めます。
②ボランティアの方と連携を図り、クラブ活動等を通して、利用者の楽しみややりがいを提供していきます。
③地域貢献活動（だんだん広場等）を通して、地域の方々の健康増進に努めます。

３－３－７）相談支援　部門計画

（１）部門目標：地域の方々や利用者、ご家族、施設職員が繋がりを大切にし、利用者一人ひとりが最期の時まで自分らしく、楽しみのある生活が送れるような支援を目指します。

（２）重点目標：

①利用者のアセスメントを充実させ、ご家族や施設職員と情報を共有します。

②地域に暮らす方々のボランティア活動を受け入れ、利用者が楽しみややりがいを持てるクラブ活動や外出を通し、地域との繋がりを目指します。

③業務軽減や仕事の効率化や書類の見直し等、少しずつ負担軽減できることを考え、取り組みます。

＜行事年間計画＞

４月	花見外出（高田公園）	10 月	水族館外出
５月	水族館外出	11 月	買い物外出
６月	かっぱ祭り、あごすけラーメン会	12 月	お買い物会
７月	七夕祭り、お買い物会	１月	お菓子作り等
８月	蓮見学	２月	
９月	敬老会	３月	

＜クラブ活動・他活動＞

チクチク倶楽部	男気クラブ	畑々クラブ	ガーデニング
アロマ・カフェ	しおさいカフェ	うみまち茶屋	音楽レク

３－４）障害支援課　さいはま園　部門計画

（１）部門目標：我が事・丸ごとプロジェクトを推進し、多種多様な障害や年齢に応じたニーズに対応できる施設を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の「自分でできる」という思いを大切にした自立支援と、「なりたい自分」を目指す自己実現を支援し、ＱＯＬの向上を目指します。

②「人権尊重と尊厳の確保」を実践し、人権意識向上委員会の３原則を遵守した一人ひとりを大切にする施設を目指します。

③福祉施設として担っている役割を発信し、さいはま園の取り組みや長所、福祉の魅力がコミュニティに浸透するよう努めます。

④障害者の高齢化、重度化、障害や疾病の重複化などの課題を見直し、高齢・障害サービスを持つ法人として連携体制の構築に取り組みます。

⑤職員同士が相談しやすい環境で「協議（目的を合わせる）・協力（力を合わせる）・協調（心を合わせる）」のチーム力で働きやすい職場を目指します。

３－４－１）障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）　部門計画

（１）部門目標：「ひとりのニーズに機能する施設」を目指します。

（２）重点目標：**（数値目標：生活介護利用率 98%/年　施設入所支援利用率 97%/年）**

①その人を支えているもの（人）・大切にしているもの（人）を理解し、個別支援計画に基づいた「一人ひとりを重視した支援」を行います。

②利用者の要望や相談事に真摯に取り組み、「安心できる暮らしの場」として機能します。

③利用者や家族の意向を反映させた「求められている支援（重度化・高齢化・医療的ケア）や

体制」を構築します。
④利用者の可能性を広げる取り組みや活動の場の拡大を目指し、夕映えの郷との連携により交流の場を広げます。
⑤業務軽減を図る機器やさらなる福祉支援用具の導入により、福祉職の重労働を見直し、一層の効率化と業務軽減を図ります。

３－４－２）短期入所（ショートステイ）　部門計画
（１）部門目標：コミュニティ拠点としての施設を目指します。
（２）重点目標：**（数値目標：利用率 90%）**
①緊急時や災害時の福祉避難所として機能し、円滑な受け入れ対応を目指します。
②重度の障害がある方や医療的ケアを必要とされる方を支える施設として、行政や相談支援事業所と連携を図り、受け入れ体制を整えます。
③レスパイト機能だけでなく、将来の施設生活に安心感が持てるよう、入所待機の場としても機能します。
④共生型サービスは、制度の動向や利用者状況を見据え、体制の構築につなげます。
⑤利用者の多様性（障害種別の多様化・家庭環境の変化など）に応じた体制を整え、障害についての知識を学び、専門性を向上させます。

３－５）管理課　部門計画
（１）部門目標：利用者の「喜び」を引き出せるサービス提供に努めます。「効率・効果的な経営」を行うと共に、利用者及び職員が「安全・安心・快適」に過ごせる環境づくりに努めます。
（２）重点目標：
①施設利用者が、安心・安全・快適に生活ができるようサービス向上に努めます。
②利用者の声に耳を傾け、食事に対する満足度を高めていきます。（利用者に寄り添う、食事提供に努めます。）
③職員、法人組織間の連携を通して効率・効果的な経営に努めます。
④職員が安心・安全に働けるよう職場づくり及び環境整備に努めます。
⑤安定的・発展的な事業経営ができるよう、業務の改善に努めます。
⑥職員一人ひとりが生き生きと働けるよう、職員の健康と精神的健康の増進を図り活力ある組織づくりを推進します。

３－５－１）管理課　厨房　部門計画
（１）部門目標：「食べる喜び」を感じて頂き、おいしく安全な食事の提供に努めます。
（２）重点目標：
①他職種との連絡調整を密にし、工夫や配慮を加え、心のこもった食事提供に努めます。
②選択メニューや郷土食、新メニューなど楽しみにしていただける食事を心がけます。
③衛生管理を徹底し食中毒を予防します。

３－５－２）管理課　事務　部門計画
（１）部門目標：業務改善を常に念頭に置き、効率的な経営に努めます。
（１）　重点目標：
①光熱水費、経費等のコスト削減に努めます。
②情報を共有し、円滑な外部対応を行います。

③労務情報の共通管理により、効率的な情報共有と迅速な対応に努めます。
④経理業務において、会計事務所との連携により、正確で効率的な業務を行います。
⑤他職種の業務を支える職場環境と組織づくりを目指します。
⑥法人間で経理業務や経費削減を効率・効果的に行うよう努めます。

３－５－３）管理課　保安、宿直、清掃　部門計画
（１）部門目標：利用者と職員が安心・安全・快適に過ごせるよう各職種間と連携を取りながら効率・効果的な業務に努めます。
（２）重点目標：
①保守・修繕において職種間と連携し、効率効果的な業務に努めます。
②設備機器の更新に際し、効率化が図られるよう努めます。
③整理、整頓、清潔に努めます。
④安全と清潔を心がけ、利用者と職員が快適に過ごせる環境づくりに努めます。